



伝統と今を大切に

# 堅川中だより

第9号

令和8年2月2日  
墨田区立堅川中学校  
発行 校長 稲垣 吉実

## 「一年を振り返り、自分の価値と成長を確かめる」

校長 稲垣 吉実

2月は、一年間の学校生活を振り返り、生徒一人一人が自らの成長と向き合う大切な時期です。特に3年生にとっては中学校生活のまとめの時期であり、1・2年生にとっても、次の学年に向けて自分自身を見つめ直す時期となります。

本校では、「堅中の伝統と今を大切に、文武両道の精神のもと、生徒一人一人の希望を叶え、社会に貢献できる生徒の育成」を学校経営目標として掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。その実現に向けて重視しているのが、生徒が自分の存在価値を実感できる力、すなわち自己有用感・自己肯定感、そしてそれらを支える非認知能力の育成です。

これらの力の育成は、来年度の墨田区における主要な教育課題の重要課題の一つとしても位置付けられています。

自己有用感とは、「自分の行動が誰かの役に立っている」「自分は集団の中で必要とされている」と感じる気持ちです。本校では、授業での話し合い活動をはじめ、学校行事、委員会活動、部活動などを通して、生徒が役割と責任をもち、仲間と協力して活動する機会を大切にしています。自分の出番があり、その働きが周囲に認められる経験は、生徒に大きな自信と意欲をもたらします。

また、思春期の生徒にとって欠かせないのが自己肯定感です。思うようにいかない経験や失敗の中でも、「努力している自分には価値がある」「挑戦し続ける自分を認められる」という感覚をもつことが、次の成長へとつながります。教職員は、結果だけに目を向けるのではなく、過程や姿勢に光を当て、生徒の頑張りを言葉で伝える関わりを大切にしています。

こうした自己有用感や自己肯定感の土台となるのが、非認知能力です。非認知能力には、最後までやり抜こうとする粘り強さ、困難に直面した際に気持ちを切り替える力、自分の感情をコントロールする力、相手の立場を考えて行動する思いやり、仲間と協力して課題を解決する力、自ら考え判断し行動する主体性などが含まれます。これらは数値では測れませんが、将来、社会に貢献していくために不可欠な力です。

この一年、生徒たちは多くの成功やつまずきを経験しながら、確実に成長してきました。その積み重ねこそが、自分への信頼となり、次のステージへ進むための大きな財産となります。

今年度も残りわずかとなりましたが、生徒が自分自身の歩みを振り返り、「自分は成長してきた」「これからも挑戦できる」と感じながら前に進めるよう、今後も丁寧な指導と支援を続けてまいります。

ご家庭におかれましても、この一年でお子様が周囲の中で役立った場面や努力を重ねてきた姿について、ぜひ言葉にして伝えていただければ幸いです。

## 竖中生の活躍紹介

◎吹奏楽部

○東京都中学校アンサンブルコンテスト 銅賞

角田 奏、志村 子杉、朝長 愛理、草藤 桜駕、福島 可留南  
山本 嗣美、ゲオムンクン スパナット、

## 2月の予定

1	日	
2	月	定例・代表委員会
3	火	
4	水	職員会議
5	木	特支合同送別会リハ
6	金	特支合同送別会
7	土	土曜授業 学校公開日 新入生説明会 学校運営協議会
8	日	
9	月	生徒朝礼 安全指導
10	火	すみだいじめ防止の日
11	水	建国記念の日
12	木	文化祭展示始
13	金	ESAT-J(1), (2)
14	土	文化祭展示終
15	日	
16	月	(表彰朝礼)
17	火	(職員会議)
18	水	区中研研究発表会 NO 残業 DAY 定期考査1週間前 諸活動停止期間始
19	木	
20	金	避難訓練
21	土	新入生制服採寸日 都立一次入試日
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	定期考査①(全)
26	木	定期考査②(全)
27	金	定期考査③(1), (2) 諸活動停止期間終
28	土	

※ ( ) 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

## 【1 学年】

1月10日（土）、学校公開に合わせて、外部講師による出前授業を開催しました。文部科学省主催の「青少年の体験活動推進企業表彰」を受賞した出前授業で、地域・保護者の皆様にも多くご参観いただき、ありがとうございました。南極地域観測隊として派遣された、NECネットエスアイ(株)の社員の方を講師にお招きし、昭和基地での仕事や生活についてお話いただきました。また、南極の自然が織りなす様々な気象現象や極寒地域で生息する動物などが現地で撮影した動画や音声を交えて紹介されたり、隊員の防寒服に触れる体験が行われたりしました。理科・社会など教科に関連する内容の他、さまざまな職業や生き方、仲間の大切さについても考えることができ、どこを切り取っても学びの多いものでした。

＜生徒の感想より＞

「コウテイペンギンがよちよち歩く姿がとても印象に残りました。アザラシの鳴き声のお話も面白く、南極の生き物を身近に感じることができました。昭和基地へ向かう道中の激しい波や風のお話からは、南極にたどり着くまでの大変さがよく伝わってきました。写真や動画で見たオーロラは躍動感があって感動しました。南極の食事は簡単なものだと思っていましたが、料理人によって隊員の生活が支えられていると知り、印象に残りました。また、越冬隊の活動がリレーのバトンのように引き継がれていくという話から、強い責任感と信頼を感じました。」



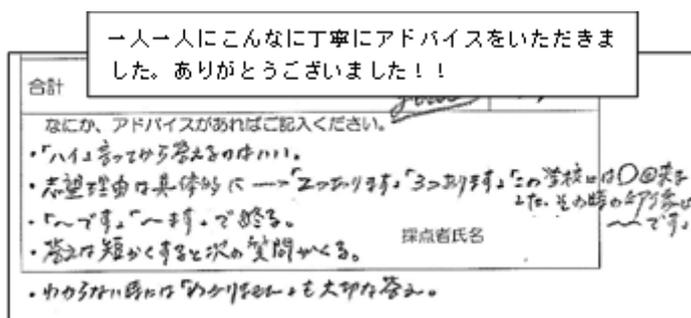
## 【2 学年】

先週、スキー移動教室で群馬県まで行ってきました。時折吹雪くものの、そこまで天候が崩れることはなく、普段なかなか見ることのできない白銀の世界に生徒たちは感動していました。全員がそれぞれのレベルに合わせてスキー講習に粘り強く取り組む姿が見られました。スキーは初めての人が多い中でしたが、講習を重ねるごとに技術に大きな向上がみられました。ホテルの部屋はとても暖かく快適で、美味しいごはんを皆、お腹いっぱい頂きました。宿舎では、これまで実行委員が中心となって決めたルールをしっかりと守り、宿舎班で協力して様々なことに取り組みました。ゲレンデレクでは白熱した戦いが繰り広げられ、雪遊びに夢中になる生徒もたくさんいました。体調不良生徒が多く、2日間の行事となってしまいましたが、1人ひとりの協力と頑張りにより、スロージョーガン「二学年 しおりで勝利 大スキー」を十分に達成できた移動教室であったと思います。様々なことにご協力いただいた保護者の皆さまに御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 【3 学年】 『パワーアップ面接練習会』 が行われました

年が明けて最初の週、1月10日(土)に、学校支援地域協力会主催でパワーアップ面接練習会が行われました。地域の方々、卒業生、地域の自治会長さん、民生委員の方、歴代のPTA 会長、校長先生など、たくさんの方に協力していただきました。日頃から豎川中学校に強く関心を寄せていただき、何かあれば即動いてくださる方々です。準備期間は3か月ほどで、面接前には学校に下見に来て、教室内を確認していただきました。生徒1人に、面接官が3人～4人、丁寧に質問していただき、アドバイスをいただきました。3年生 100 名以上の面接練習会が実施できたのは、地域の方々の力にほかなりません。豎川中学校の地域の方々の力の大きさに驚き、大変有り難く感じました。また、当日はPTA 役員の皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。



## 【5 組】 『スキー移動教室』

2年生は、とても楽しみにしていたスキー移動教室に行ってきました。

スキー初体験の生徒がほとんどでしたが、練習を重ねることで上手になり、リフトに乗ることもできるようになりました。スキーの他にも、みんなで盛り上がった野外レクリエーション、おいしい食事、気持ちよかった温泉など、大満足の二泊三日でした。



## 【食育】

PTA 厚生福祉委員会主催の給食試食会を1月27日に行いました。メニューは、つけ麺、あさりのカリッとサラダ、ぼんかん、牛乳でした。

ラーメンの類に対する世間一般のイメージは、健康的ではなくジャンクなものかもしれません。脂肪分や塩分が多く、野菜が少ないイメージがあり、実際そのようなラーメンは散見されます。給食のつけ麺では食塩を減らす工夫をし、食塩についての指導も併せて行い、副菜も付けて1食分としました。工夫や組み合わせ次第で、「絶対ダメ」のような料理はおそらくありませんし、逆に「これだけでOK」のような食事ありません。この日の食塩量は1日目安よりは多い日でしたが、1か月などある程度の期間で整えることや日々の減塩の工夫などを、授業で生徒に説明したような形でお話しさせていただきました。

また次年度、機会がありましたら奮ってご参加ください。